

本書の見方

本書では、TAD の各セグメントの ID、SubID から番号を導き、項目番号とした。本文中〔〕で参照される番号となっている。

続いて、セグメントの代表的な形を左ページの左端に、16ビット幅の図表として添付した。(セグメントの構造については〔0.1.1〕参照)

本文は主として【目的・機能】【用法】【制限・禁止事項】の三つのパートからなる。

【目的・機能】ではセグメントがどのような目的のために存在し、どのような効果や表現を実現するかを解説する。また、その効果範囲についての記述もこの中に入る。

【用法】では、セグメントの各パラメータとその効果や影響を解説する。

【制限・禁止事項】では、当該セグメントにまつわる問題事項を解説する。また、それらを回避するための制限事項や、禁止事項などを説明する。

これら以外に、項目によっては特別に解説を用意することがある。

